

福島第一原子力発電所 1号機使用済燃料プールにおける養生バック設置作業の進捗状況（養生バック展張作業の完了）について

< 参考資料 >
2020年6月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 1号機原子炉建屋においては、ガレキ撤去作業にあたり、万が一、ガレキが使用済燃料プール（以下「SFP」）に落下した際に、SFP内に保管されている燃料等の健全性に影響を与えるリスクを低減することを目的に、SFP上（水面上）への養生バック設置準備作業として、2020年3月からヤードへの資機材搬入等の準備作業を実施しておりますが、5月29日に準備作業が完了したことから、5月30日からSFP内に吊降ろした排水ポンプにより、SFP水位を低下させる作業等を実施しています。
- 昨日（6月7日）、巻物状にした養生バック及び養生バック投入装置について、ヤードからオペフロ作業床への吊上げと設置作業が完了したことから、本日（6月8日）午前8時5分、SFP上（水面上）への養生バックの投入作業を開始し、午前9時10分、養生バックの展張作業が完了しました。
- 今後、養生バックに空気を注入し、膨らませた上で、内部にエアモルタルを注入し硬化させることで、ガレキ等の落下に対する強度と浮力を確保する計画です。
- 作業にあたっては、作業員の被ばく線量低減対策のため、遠隔操作室において、オペフロ作業床や養生バック投入装置等に設置した監視カメラ等の映像を確認しながら、遠隔操作で実施しており、引き続き、ダスト濃度を適切に確認しながら、周辺環境に影響を与えぬよう、工程ありきではなく、安全を最優先に、慎重に進めてまいります。

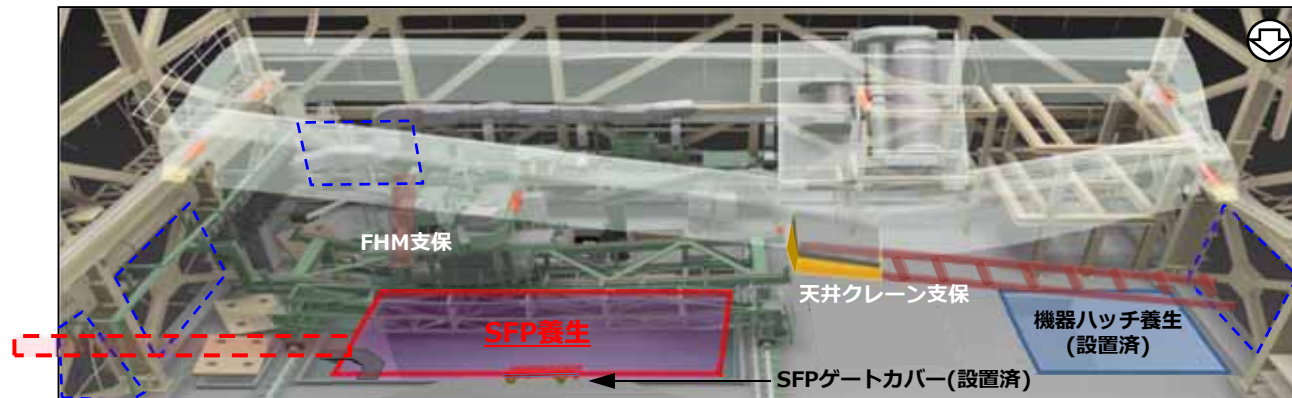


図1.ガレキ等落下防止・影響緩和対策の概要



図2.オペフロ作業床に設置された養生バック及び養生バック投入装置※

※:図内の時刻は参考時刻

■:養生バック及び養生バック投入装置設置箇所 □:Xブレース撤去箇所

【参考】遠隔操作室・ヤード・オペフロ等の状況



図3.遠隔操作室における遠隔操作状況

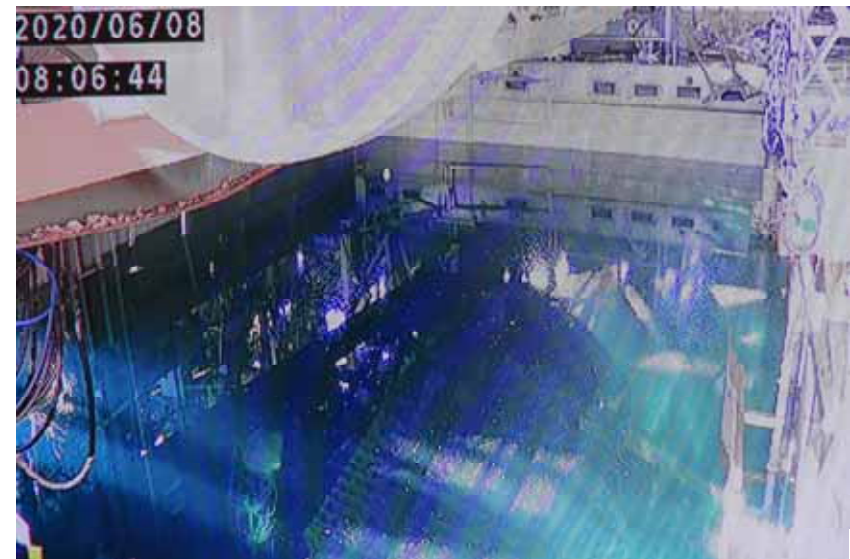


図4.養生バック投入前のSFP※



図5.SFPへ養生バック投入後※

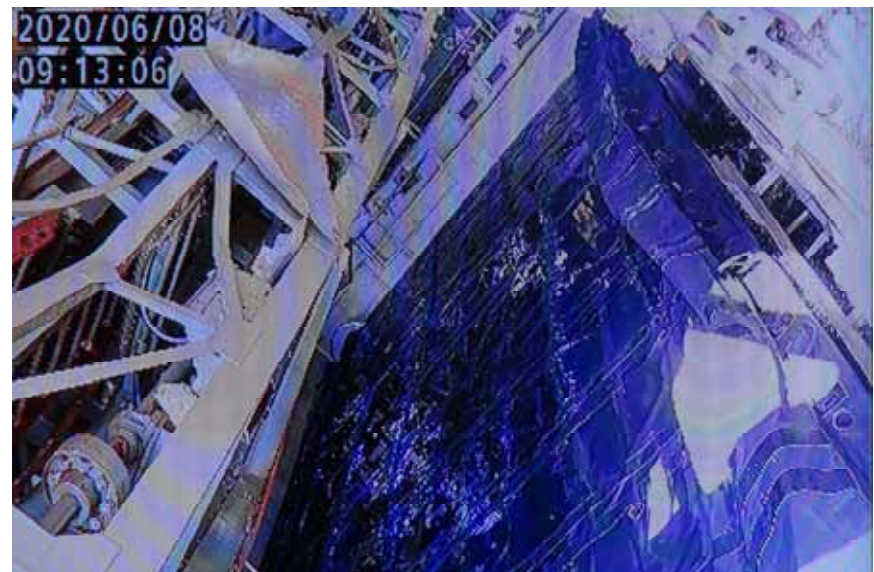
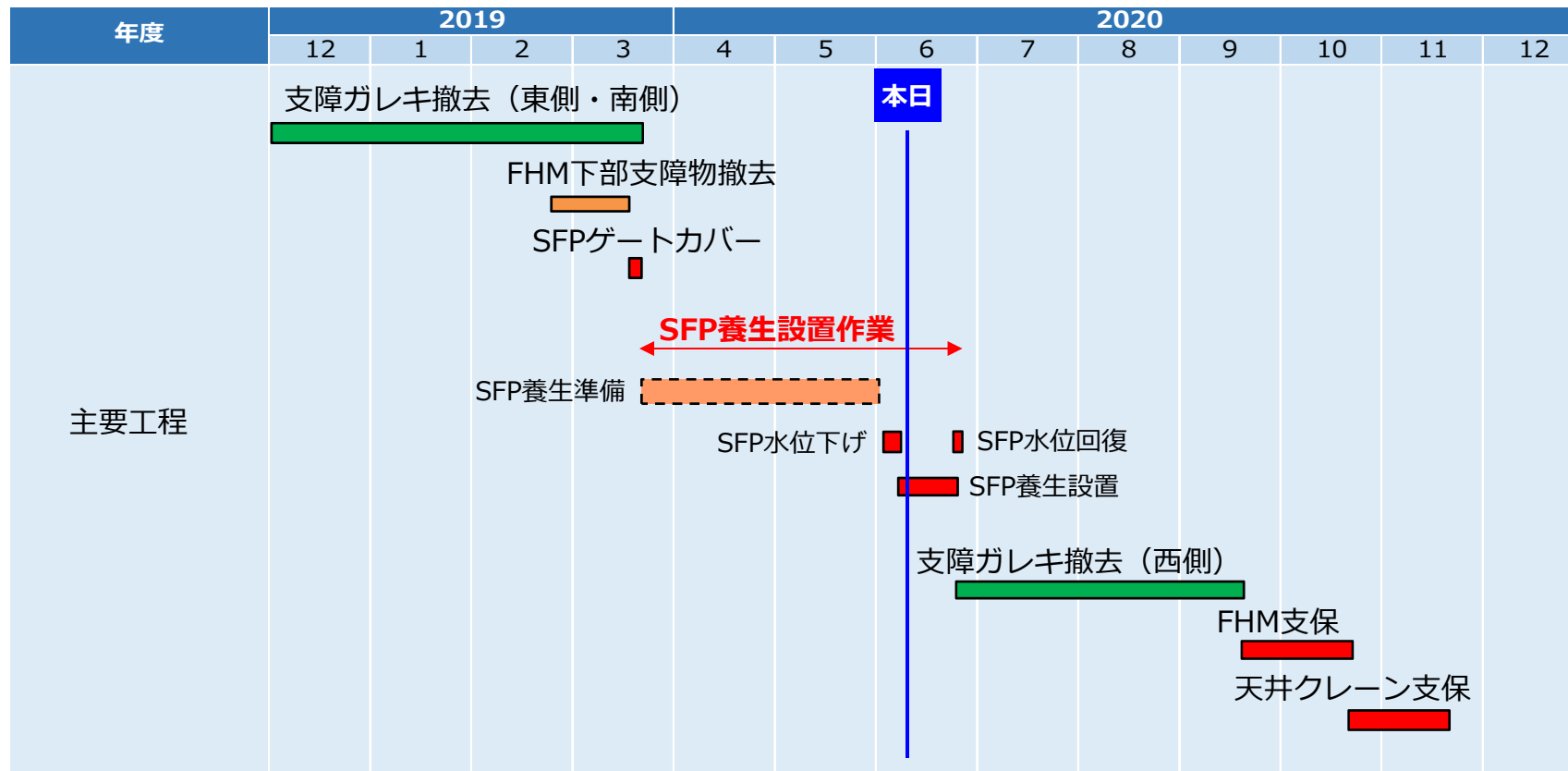


図6.SFP上で養生バック展張完了※

※:図内の時刻は参考時刻

【参考】スケジュール



※各工程にはトレーニング、準備期間含む。
 上記スケジュールは、工事進捗やトレーニング等により変更となる可能性あり。